

禍異物語

まがいものがたり

―八尺様？編―

成人指定
十八禁



八尺様

インターネット上で
投稿された怪談から
世に広まった現代の妖怪。

身長が八尺

(約240センチ)もあり、
ワンピースを着用し

帽子を被った

女性の姿をしているという。

また「ぽぽぽ」と

特徴的な声を発する。

主に子供や若者などを

魅入り、連れ去ったり

取り殺してしまう。

もし出会っても

話しかけたりしてはいけない。

だが、出会って無事で

いられた者は…。

あれは
暑い夏の日の
出来事だった

僕は
夏休みの間に
祖父母が暮らす
某所へ訪れた



周りは
緑で囲まれた
自然豊かな場所で
風になびく葉の音や
セミの鳴き声が
辺りを響かせている

しかし
そんな風情を
かき消すように
夏の日差しは容赦なく
降り注いでいた



しばらく歩いて
汗だくになりながら
祖父母の家に辿り着いた

孫と久々に会うという事で
二人は家の前で
笑顔で出迎えてくれた



休憩後
この地域へ
久しぶりに
訪れたこともあり
思い出巡りとして
近所を散歩する
ことにした

多少は変われど
昔からの面影は
残ったままだった

この道は…
小さい頃
おじいちゃんと
よく通ったな…

今でも
あの時のままだ…





散歩の途中
異様に背の高い
女性を見かけた



異様だと思ったのは
頭の位置が塀より一
遙かに高かったためだ



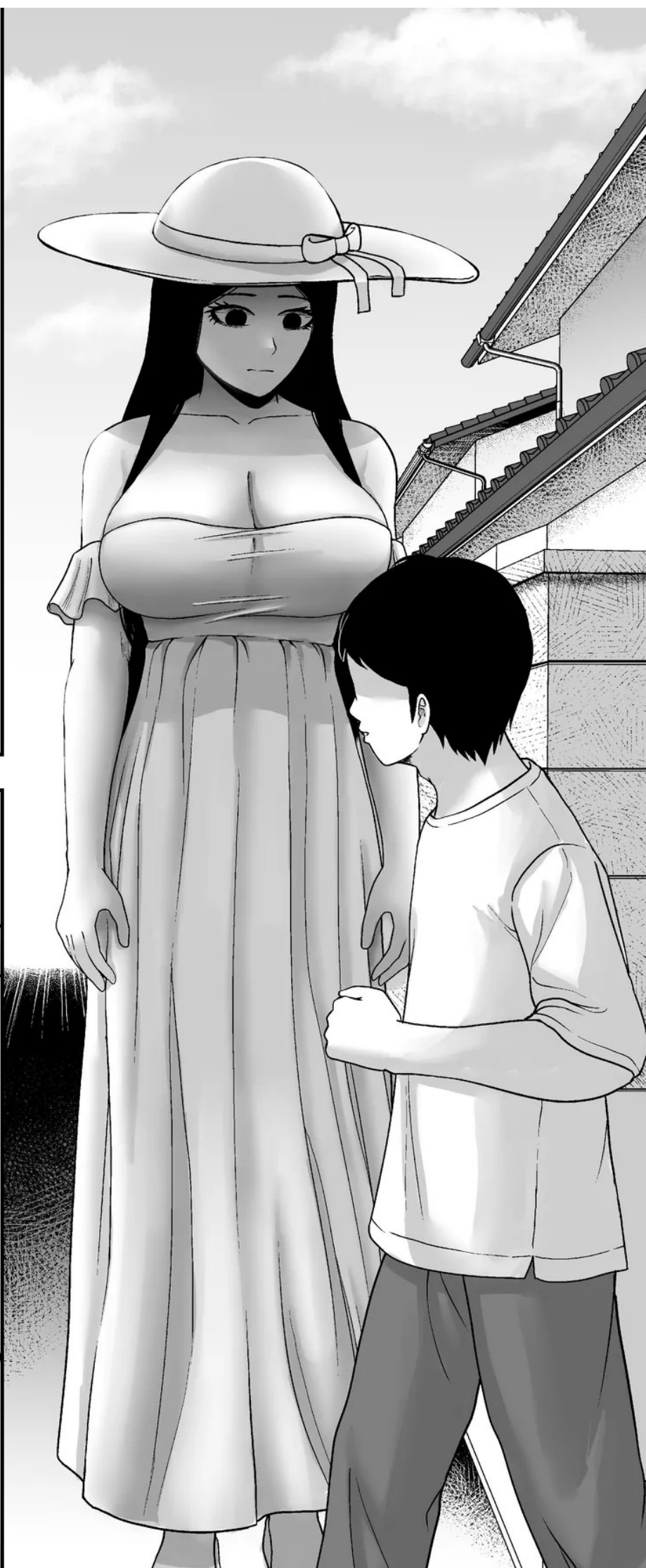
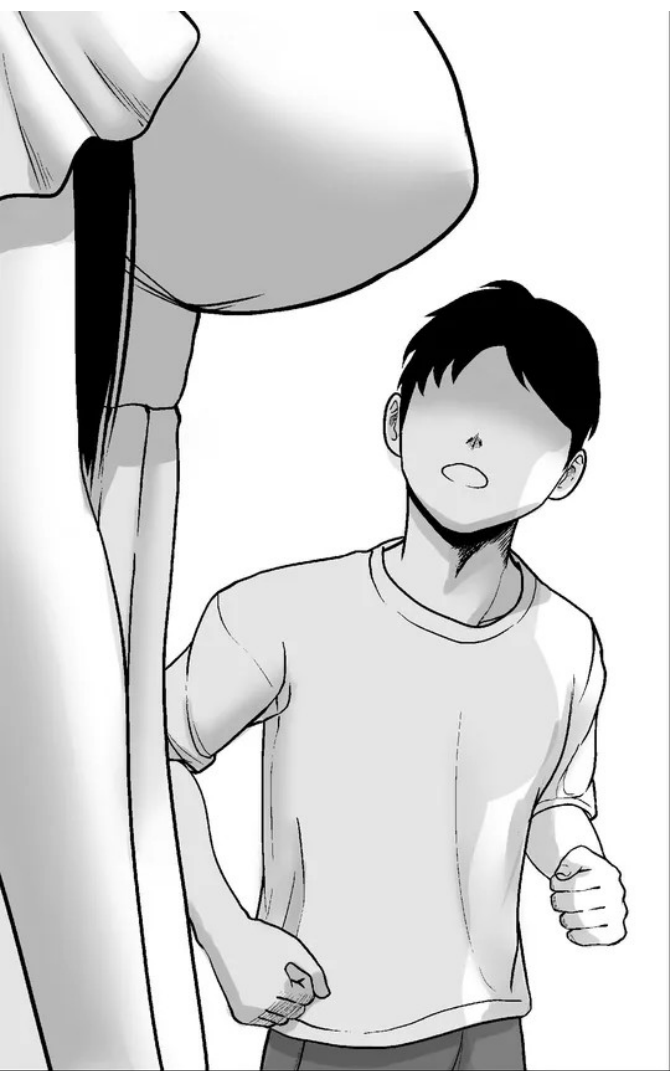
それにまだ顔を
見ていない

失礼は承知だが
遠目で見ようと
彼女の曲がった先を
覗こうとした



近所に
住んでいるのか？
はたまた
旅行者なのか？

僕の中で
彼女に対する好奇心が
僅かに芽生えてしまった





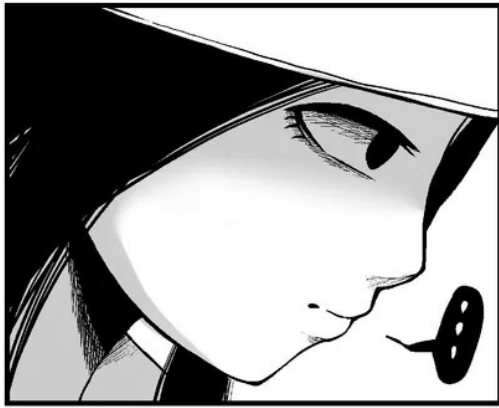
曲がり角のすぐ傍で
彼女と出会ってしまった

奇妙な言葉を発しながら
黒く大きい眼でじつじつと
僕を見つめていた



それは胸というには
あまりにも大きすぎた





彼女は僕の考えを
見透かしたように
煽情的挑発を
かましてきた

グググッ

不安と戸惑いを
感じる中
ズボンの中の一物は
固く隆起し
神々しく天を指していた

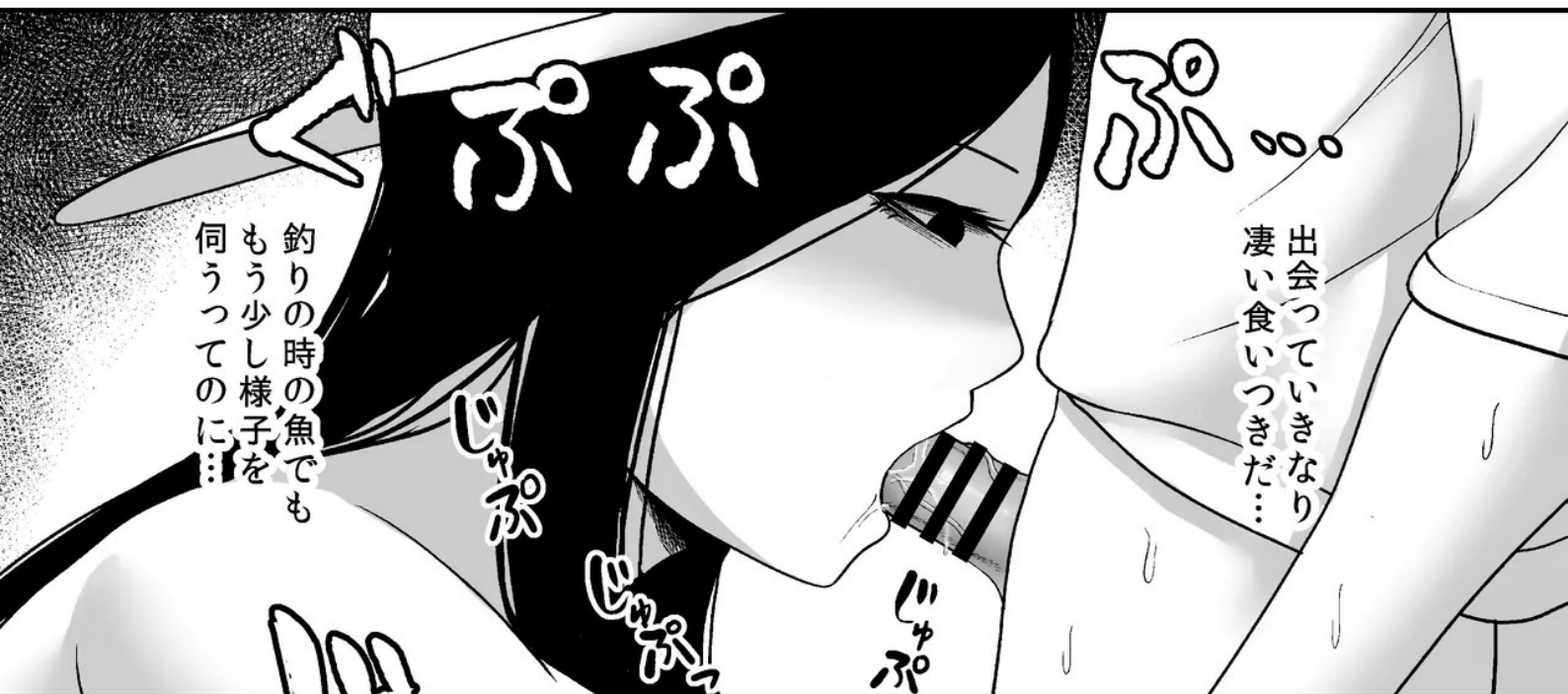
.....

どこか
人気のない
場所
で
お願いします...

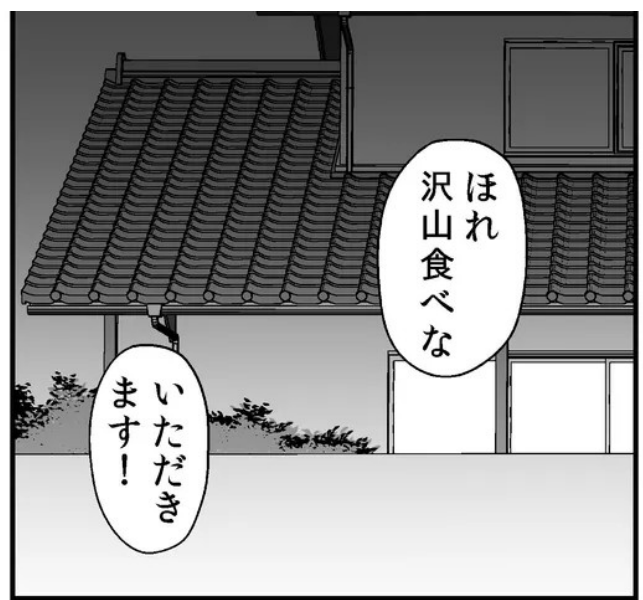
虫刺されとか
大丈夫かな...

う〜〜ん...
自分の提案とはいえ
外でフリチンは
恥ずかしい...

ぽぷ







「背が異様に
高かっただろう？
身長は八尺ほどあるって
言われていてね

だから奴は
『八尺様』って
呼ばれてるんだ

魅入られた人は
行方不明になったり
最悪殺されたり
するんだよ…

奴は魅入った人の
身内や知人の
声真似をして
誘い出したりするんだ

だから
何があっても
一晩ここから出たり
絶対に戸を開けたら
いかんからね！」

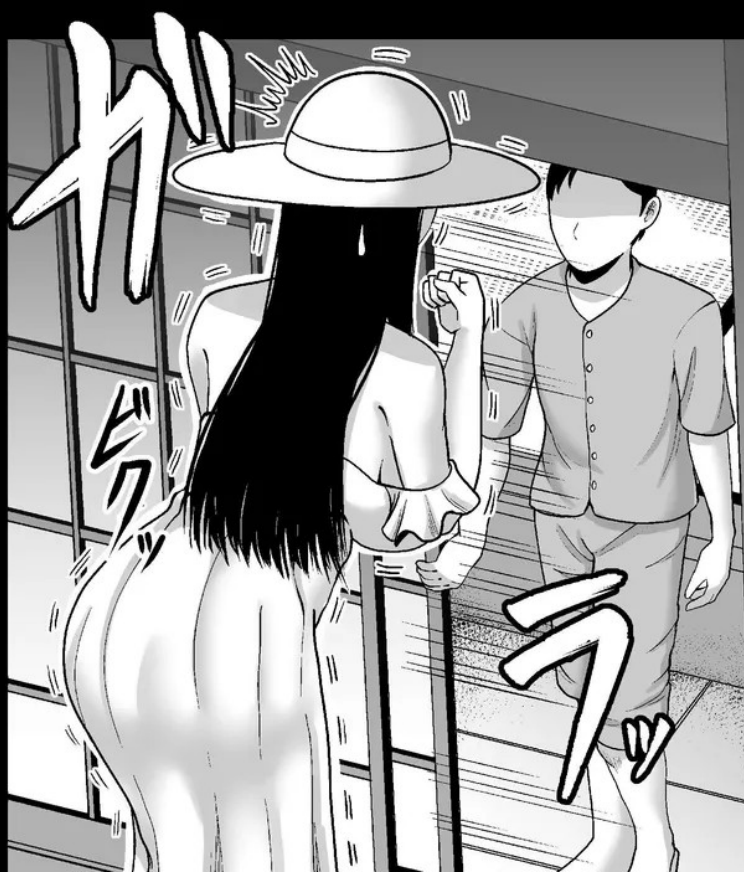
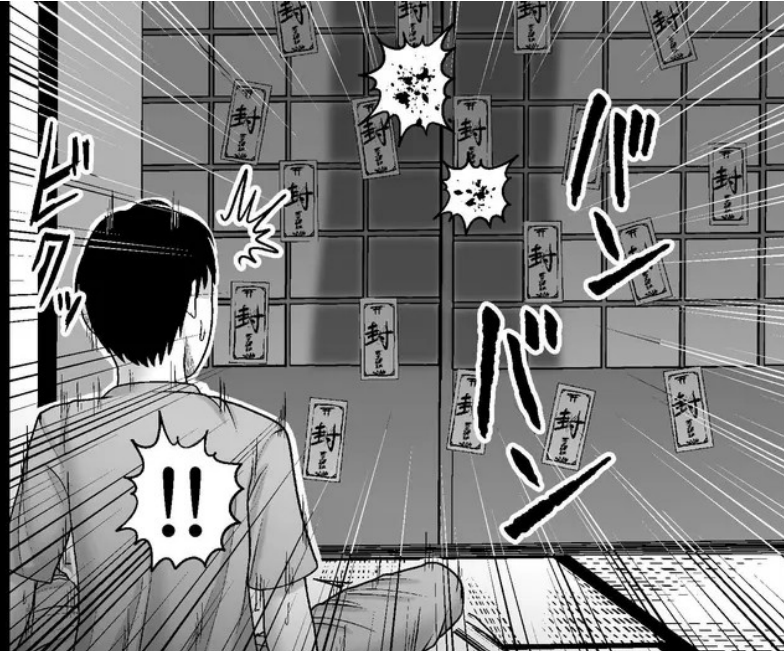


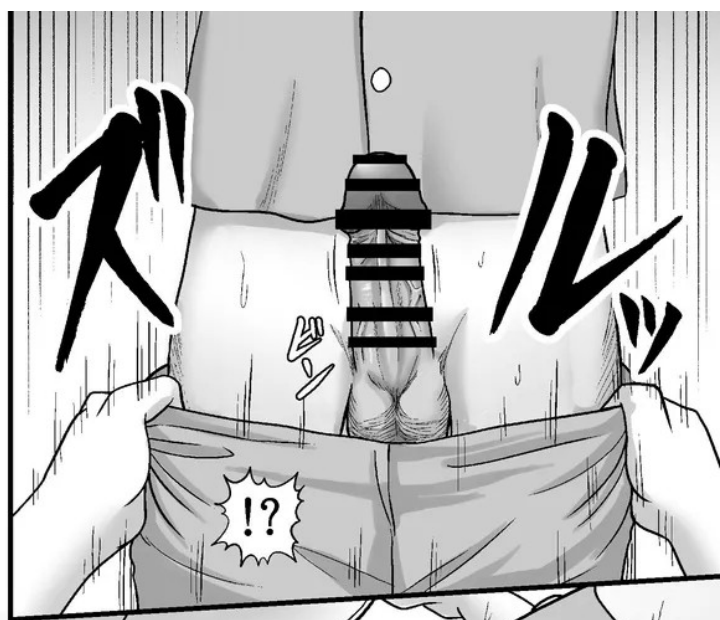
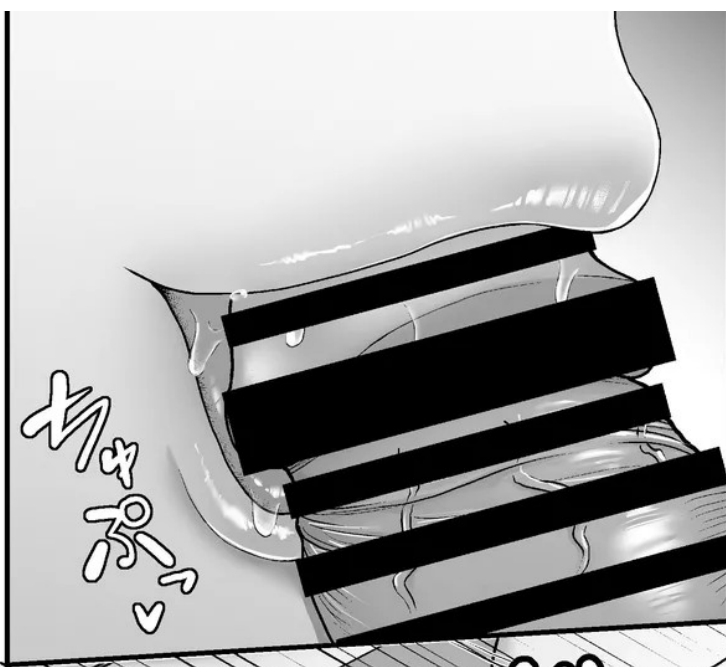
まさか
こんな事になる程
やべえ人だった
とはなあ…

どうしよう…
しゃぶってもらったうえ
口に射精ちやったよ…

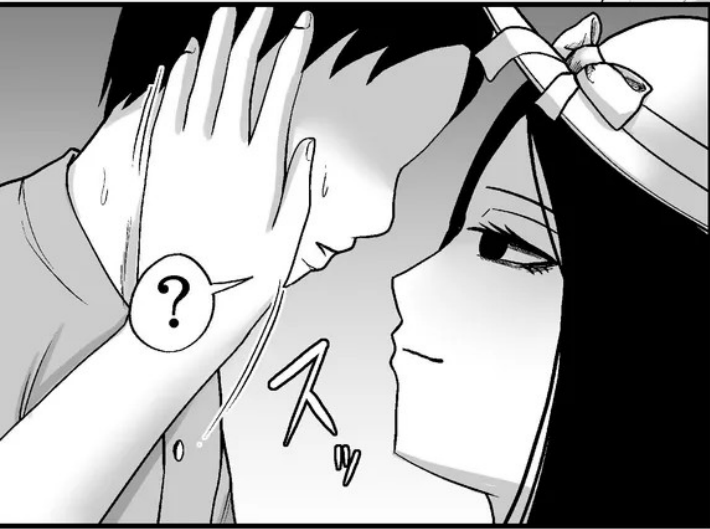
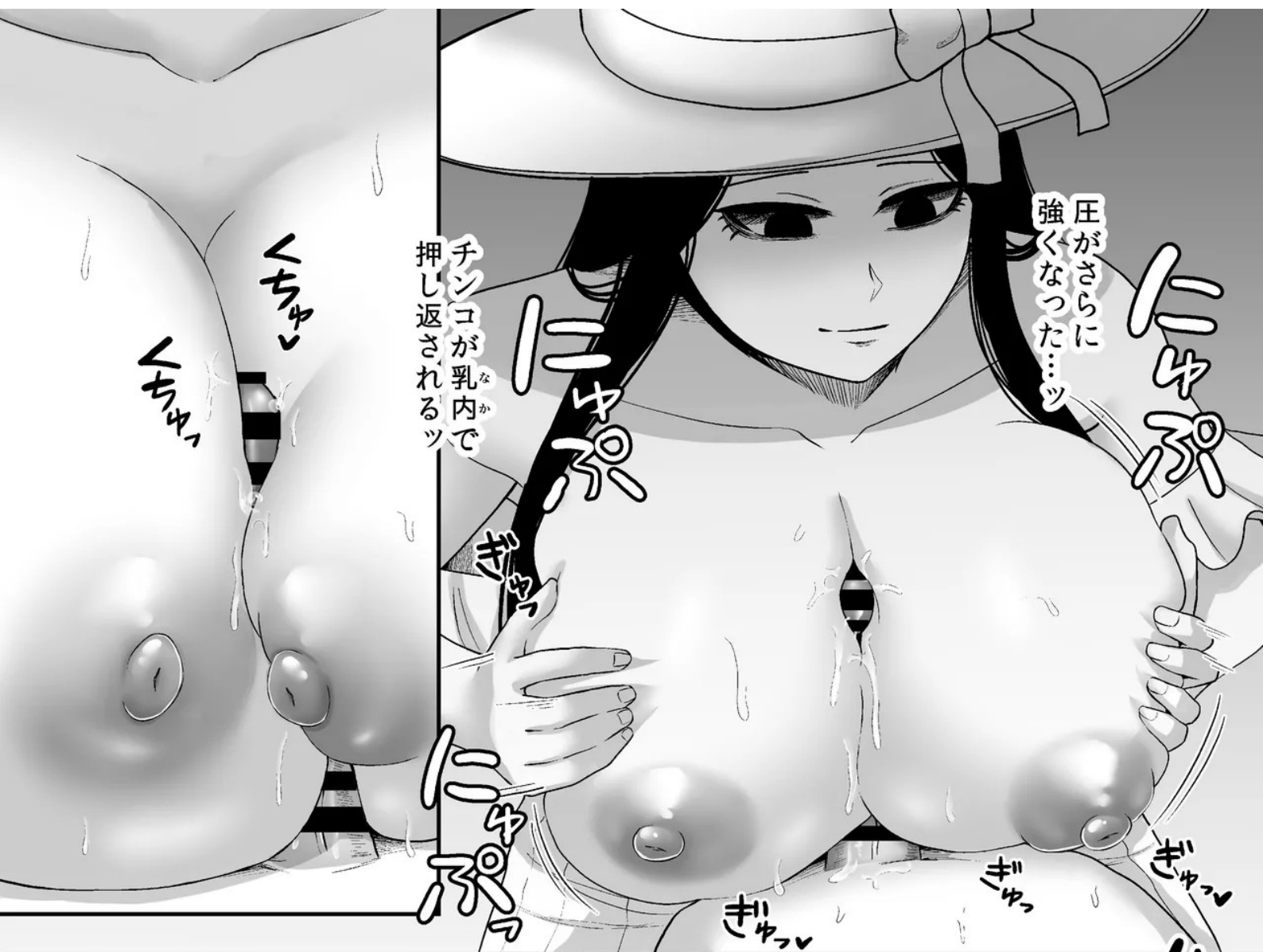
バチとか
当たらないと
良いんだけど…



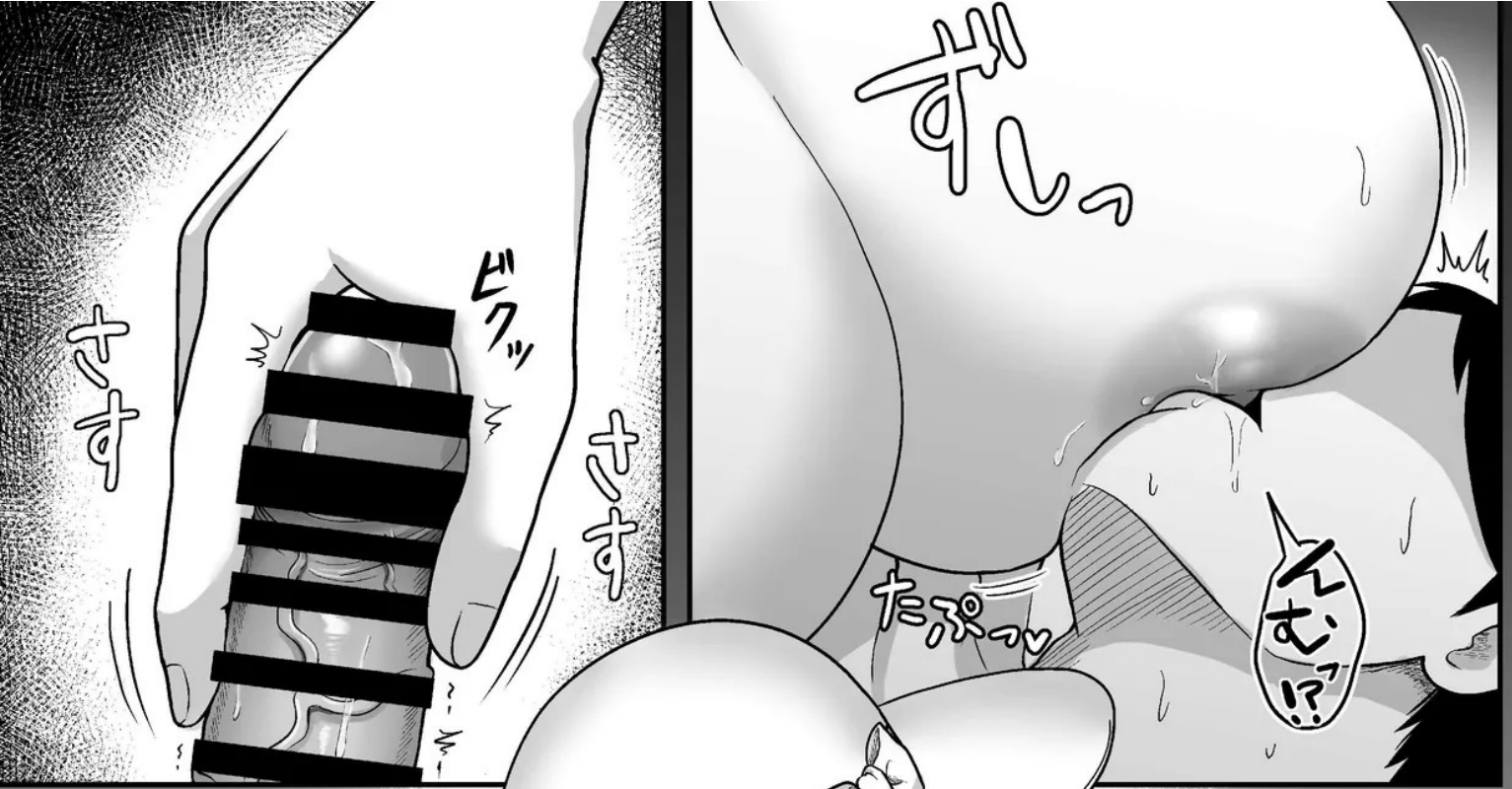














この格好で
お世話されてると
赤ちゃんに
なった気分だな...

まだおっぱいで
息苦しいけど
こういうのも
悪くない...

ぽちゃ
ぽちゃ

ふー
ふー

れろ
れろ

ちゃう

ちゃう

しかし
心なしか段々と
安心してくるな...

この体勢と
優しいような表情で
見守られてるお陰
だろうか...

チンコは
休まらないが
心が安らいできた...

むにッ
もにッ

くちゃッ

ちゃくッ
くちゃッ

むにッ

ちゃう

ちゃう

くちゃッ

ビクッ

ビクッ



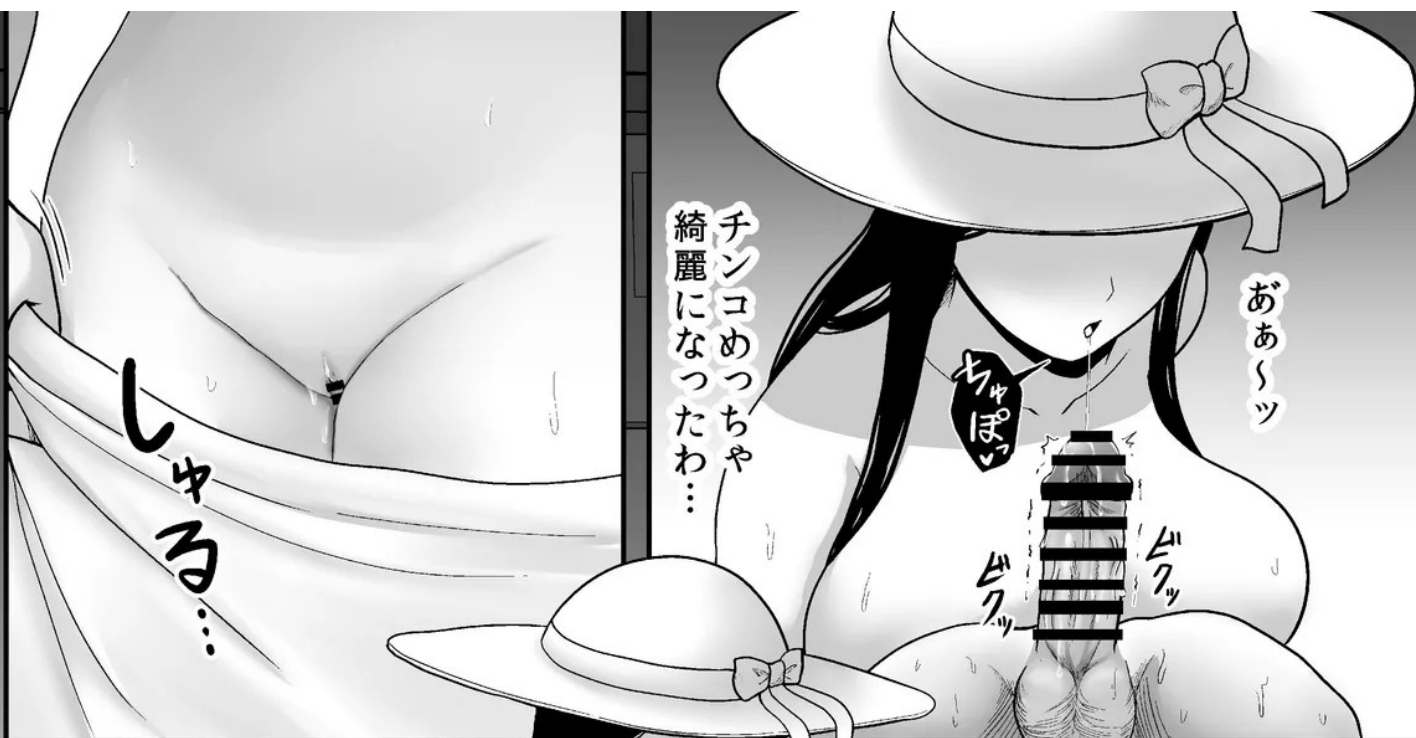
さっき
出したのに...

また
射精するッ!!



射精して
間髪入れずに
啜え...ッ

金玉の中
空になりそうな程
吸い上げの
勢いが凄い...ッ



ああッ

ちゅぽい

ぐくッ

ぐくッ

チンコめっちゃ
綺麗になったわ...

しゃる...



ぽ...♡

かっ...♡

ぱ

凄い...
文字通り性欲オバケ
じゃないか...

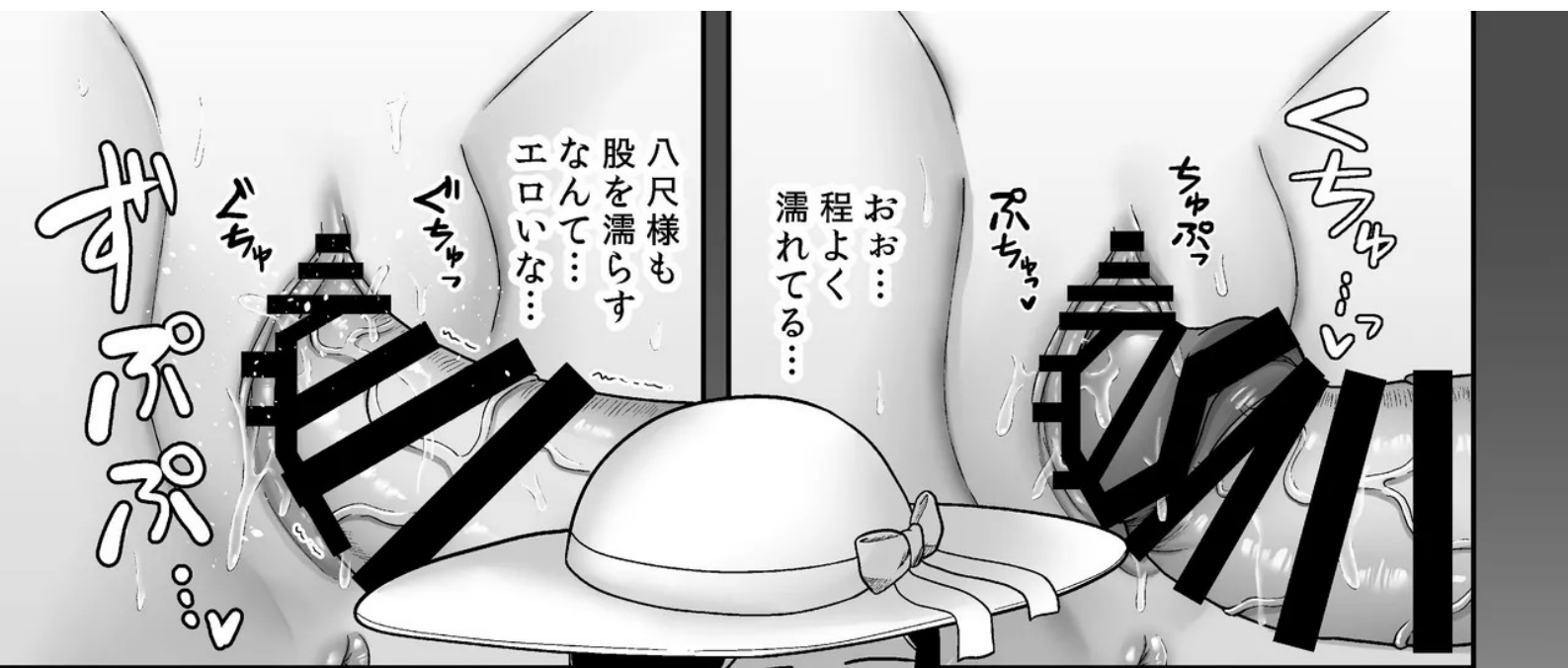


またッ!
欲情を煽るような
挑発を...!!

こうなれば
最後まで
やってやるぞッ

くっくっ
くっくっ

くっくっ
くっくっ





抜こうとしても
なかなか
離さないぞ…



想像より
湿り具合や
締めまりが良い…ツ

腔内^{なか}も肉厚で…ツ

挿入^{いれ}る度
竿^{はし}が
温^{ぬる}けえ…!!



肌も
柔らかくて
密着面が
包み込まれ
てる…

体格差も
相まって
心地良い…

ヤバい…腰が
止まらん…ツ!





うお…急に
舌を絡めてくる…ッ

さつきより
反応がわかりやすい…
気持ちが高
ぶつてきたッ

はゅん はゅん はゅん
はゅん はゅん はゅん
はゅん はゅん はゅん



積極的に舌を
絡ませて求める姿が
とてもエロい…



射精…!!
膣内へ大量に
出すぞ…ッ

ぐう…ッ
もうイきそうだッ

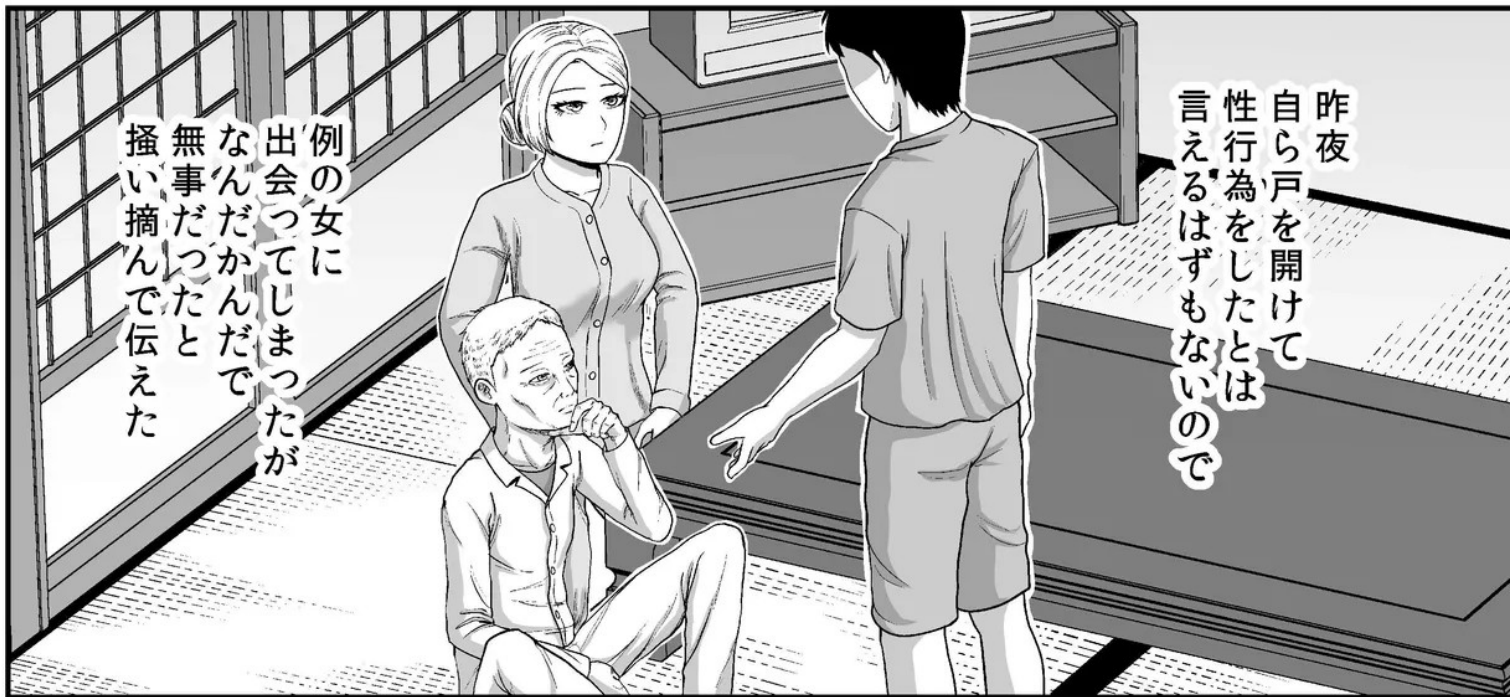
はゅん はゅん はゅん
はゅん はゅん はゅん
はゅん はゅん はゅん





僕は
身の安全を伝えるに
祖父母のもとへ
向かった

気が付いた時には
朝になっており
彼女の姿は
部屋から消えていた



昨夜
自ら戸を開けて
性行為をしたとは
言えるはずもないので

例の女に
出会ってしまったが
なんだかんだで
無事だったと
掻い摘んで伝えた



せっかく来て
もらったのに
悪かったね！
また会いに行くから
元気でおるんだよ！

しかし
今後何が起るか
わからないから
もう家に
帰りなさい！



：出会って
無事で済んだ
のは本当に
良かったけど…

こんな事は
初めてだ！
何しろ前例が
無いからな！





尺八様

八尺様との違いは
露出の高い服装や発する言葉、
欲情を誘うような仕草。

取り殺したり連れ去ったりは
しないので人間にとっては
無害な存在だが、容姿が八尺様に
似ているため恐れられている。

男根を咥えるような素振りを
よく行うことから名付けられた。

要はスケベな八尺様っぽい怪異。

おばあちゃん



住んでいる地域の怪異による
何らかの力の影響で、
見た目が若々しくなった。
若いのは外見だけで、
体力は年齢通り。
人から声をかけられる頻度が
増えた。

八尺様



本物の八尺様。
尺八様との関係性はないが、
こちらは人間を取り殺したり
連れ去ったりする危険な怪異。

あとがき

初めましての方は初めまして。
この度はお手にとりいただきありがとうございます。

今作はタイトル通り妖怪の『まがいもの』(偽物)をテーマにしています。
偽物・類似ものを主役にすれば、本家の威厳を保ちながら
自由にキャラを動かせるという考えや、何番煎じか分からない
『尺八様』というネタで描き切りたい思いがありました。

元となる怪談があるので、結果としてほぼ二次創作という形で
気楽に描くことが出来ました。

自身が幽霊・妖怪といった類が好きなので、
シリーズとして別の妖怪の話も描いていく予定です。
今回のような近代の妖怪を題材で考えています。

ちなみに、おばあちゃんの見た目を若くした理由として、
昔読んでいた漫画雑誌に載っていたカードゲーム漫画で、
主人公のおばあちゃんが対戦中に若返るという話がありまして。
初購入で載っていたこともあり、非常に印象に残っていました。
その時の記憶が掘り起こされ、せっかくの機会だし描いてみよう
と行動に移したのが原因となりました。

あと、対魔する忍者のゲームに登場した、
若返る術を使うおばあちゃんキャラの影響もあつたりします。

後半若いおばあちゃんの話になってしまいましたが、
次回作も見てくださいと幸いです。
何卒よろしくお願い致します！



奥付

発行日:2025年12月31日(C107)

発行:黄金の精神

pixivID:4825401

発行者:阿藤 龍(アトル)

Twitter(現:X):@atoru0912

@atoru1836

連絡先:atoudragon912@gmail.com

印刷:株式会社ポプルス 様

※本作品のAI学習・複製

無断転載・違法アップロードを固く禁じます



黄金の精神